

## 目次

はじめに 江戸時代の川柳をもとに女性の人生について考察 3

第1章 誕生 12

第2章 江戸時代の幸せな育児 19

第3章 江戸時代の下半身の薬とは…… 27

第4章 江戸時代の子どもの遊び 31

第5章 江戸時代の習い事 39

第6章 江戸時代の月経観 49

第7章 女子の元服は羞恥心とのせめぎ合い 57

第8章 江戸時代の「あの日」 64

第9章 女性のための媚薬入門 71

第10章 江戸時代の女性の分類 77

第11章 江戸時代のおそろべきナンパ術 93

第12章 江戸時代のデート 106

第13章 江戸時代の見合 114

第14章 嫁入り前 126

第15章 結納のイニシエーション 134

第16章 婚礼の段取り 142

第17章 あいさつ回り 153

第18章 江戸時代のハイレベルな新妻 163

第19章 江戸時代の妻の呼び名 179

第20章	江戸時代の夜の生活	189
第21章	江戸時代の妊婦	200
第22章	江戸時代の出産舞台裏	208
第23章	江戸時代の分娩	217
第24章	江戸時代の節約生活	230
第25章	江戸時代の銭湯文化	243
第26章	江戸時代の下衆不倫	251
第27章	江戸時代の間男	263
第28章	江戸時代の嫁姑問題	268
第29章	江戸時代の姑問題、後半。その時小姑は……	284
第30章	江戸時代の尼たち	294
第31章	江戸時代の老後	302
第32章	江戸時代シニアの性生活	312

第33章	江戸時代のご臨終	317
第34章	冥土の旅の腹ごしらえ	334
第35章	メント・モリ in 江戸	341
終章	時空を超えて、江戸時代のご先祖様とつながる	347

参考文献

353

ふわりに

354

たことかぶれて腫れているのでは？ という疑念も生じます。

他にも「黄菊の絞り汁」「蛤をつぶした汁」「銀杏をつぶした汁」などを性器に塗ると、性欲増進効果があるとのこと。こちらは現代でも簡単に手に入るので、江戸時代の先人たちからの後世へのありがたい知恵として、継承しても良いかもしれませぬ。

## 第10章 江戸時代の女性の分類

清楚系、ビッチ系、天然系、ゆるふわ系、量産型、地雷系……今の女性のスタイルを呼び表す言葉は様々です。江戸時代はどんな風にジャンル分けしていたのでしょうか。  
まず、挙げられるのは語感が奥ゆかしい、

### 一 きむすめ

です。まだ色気づいていない固い蕾のような処女。無防備さが魅力です。

川柳も残っています。



硝子を落とすはわるい男 四五七

硝子も割りてによれば手が切れず 一〇一三

硝子もわれると跡は水いらす 五九三三

「硝子を割る」は処女(美人)を奪うという意味でした。

硝子のやうだから母あぶながり 六二一三

硝子でなくても母はあぶながり 六一三〇

かわいい娘の貞操を案じる母心。

硝子は母のめがねに合ぬ也 一一二乙23

## 第24章 江戸時代の節約生活

江戸時代の奥さんはかなりハードです。育児から家計のやりくり、炊事洗濯、裁縫など何でもこなさなければなりません。その体力と生活力に、尊敬の念を送ります。新婚さんの甘いムードに浸る間もなく、すぐ現実がやってきます。

寝せ付けて亭主どかわる松の内

明元松<sup>4</sup>

真中にあんよはお下手ぶら下がり

拾十<sup>22</sup>

気ぜわしくも幸せそうな育児の川柳。この頃はまだ夫婦間も仲良さそうですが、次第にシビアな空気に……。

一つ身ハ二つにならぬ内に縫い

五五<sup>14</sup>

着物作りもお母さんの仕事です。木綿巾一つでほしい二着分だったようです。布を節約したいという堅実さが伝わります。

川柳にも表れています。江戸時代の奥様は節約上手でした。

もう嫁は二わで五文を買ならい

明元礼<sup>3</sup>

一わ三文（四十円くらい？）の葉っ葉を二わで五文に値切っています。行商から直接買うのでできる技です。

急な客ちりめんざこへ海苔を人れ

傍五<sup>9</sup>

収録した川柳の出典については下記のように表記しました。

川柳評万句合興勝句刷については、「明五礼<sup>5</sup>」（明和五年の勝句刷相印礼の五枚目の意）のように示しました。誹風柳多留については、「三〇15」（三十篇15丁の意）と示しました。

その他の川柳句集については、それぞれの句集の特徴的な一字を頭にし、その下に漢数字で篇数、下に算用数字で丁数を表記。誹風柳多留拾遺<sup>1</sup>拾、さくらの実<sup>1</sup>桜、川傍柳<sup>1</sup>傍、藐姑柳<sup>1</sup>藐、やない筥<sup>1</sup>筥、柳籠裏<sup>1</sup>籠、玉柳<sup>1</sup>玉、誹風末摘花<sup>1</sup>末とし、「傍三25」（川傍柳の三篇の25丁の意）と示しました。

本書は研究書・専門解説書ではないので、原句そのままの表記ではなく読みやすさ優先して、かなを漢字に、漢字をかなに書き換えてあるものを収録していることをご了承ください。

#### 参考文献

- 露庵主人『江戸の艶本と艶句を愉しむ』三樹書房  
 渡辺信一郎『川柳江戸 女の一生』太平書屋  
 渡辺信一郎『秘葉秘具辞典』三樹書房  
 渡辺信一郎『江戸の寺子屋と子供たち』三樹書房  
 渡辺信一郎『江戸の女たちの月華考』葉文館出版  
 渡辺信一郎『江戸の女たちの湯浴み 川柳にみる沐浴文化』新潮社  
 花咲一男『江戸入浴百姿』三樹書房  
 鈴木勝忠『川柳雑俳江戸庶民の世界』三樹書房  
 小川颯道／宮川政運『塵塚談・俗事百工起源』現代思潮社  
 松浦静山『甲子夜話』東洋文庫  
 西尾涼翁『江戸艶笑小咄と川柳』太平書屋  
 水本深蔵『絵本花の宴』鱗形屋孫兵衛  
 苗村常伯／長友千代治校註『女重宝記 男重宝記』現代教養文庫 社会思想社  
 林美一『江戸 枕絵師集成 歌川国貞』河出書房新社  
 松村明編『大辞林』三省堂  
 虎屋サイード <https://www.toriya-group.co.jp/corporate/bunko/historical-personage/bunko-historical-personage-018>  
 黒川真道『日本風俗図絵』日本風俗刊行会  
 田辺昌子（千葉市美術館）編『江戸へようこそ！ 浮世絵に描かれた子どもたち』千葉市美術館 マンゴステイン

#### 協力

渡辺かつ世  
 村田孝子

## おわりに

ひいひいひいひいひいおばあちゃんや、ひいひいひいひいひいおじいちゃんが生きていた江戸時代。守護霊にはご先祖もいらつしやると言われているので、もしかしたらこの本を背後から読んで懐かしがっているのかもしれない。

川柳は、まさに現代のSNS。キラキラ系のインスタグラムというより、本音を綴るX（旧Twitter）のようなものかもしれません。五、七、五のリズムで心の思いや日常のできごとを吐露し、共感を得ることで癒される……。その言霊の力は何百年経っても変わららず、江戸時代の先輩がたから後世の人々への手紙のようです。

この本を書くきっかけは、三樹書房編集部の本南ゆかりさんからご連絡いただいたことです。

三樹書房には、江戸時代の生活や風俗を詠んだ川柳の書籍や資料があつて、その中に江戸庶民文化研究者の渡辺信一郎先生が川柳で江戸時代の女性の人生についてまとめたものがあり、その川柳を中心に、現代と比較しながら読み解いてほしい、という依頼でした。さっそく拝読させていただいたところ、あまりにも率直で生命力がほとばしる川柳の数々に感動。江戸時代のギャグセンスも卓越しています。その本以外にも、江戸時代の関連書を何冊かお借りすることができまし

た。不肖私は、江戸時代のご先祖のお墓などどこにあるのかわからないほどの先祖不孝な子孫ですが、川柳で、当時の暮らしぶりをイメージして、ご先祖の苦労や幸せなど人生を追体験するところが、もしかしたら先祖供養につながるかもしれない、とも思いました。それは書く方だけの話ではなく、きつとこの本を読んで江戸時代に思いを馳せた読者の方も、先祖供養をしている、ということになると思います。

ハードだけれど牧歌的で、濃い人生を送ってこられたご先祖様。イギリスの外交官であるオーロコックは、江戸時代の人々を「幸福で気さくな、不満のない国民」と称しています。平和で自然に囲まれ、人々がおおらかに本能的に生きた時代。いわゆる「幸福度」が高かったのでしょうか。もちろん明るい面だけでなく、苦労も多かったと思います。ご先祖様が様々なしきたりに従い、結婚し、家事をこなし、出産し、家庭を営んだおかげで、今の私たちが存在しています。江戸時代の先人たちに、感謝の念をお送りします。渡辺信一郎先生、村田孝子さん、編集部の本南さん、そして読者様にも心から御礼申し上げます。現代も、天変地異や疫病、増税など様々な試練が襲ってきますが、江戸時代を生き抜いたタフな遺伝子を受け継いでいるので、きつと乗り越えられることでしょう。江戸時代のご先祖と一体感が強まって心強いです。

辛酸なめ子

川柳で追体験  
江戸時代 女の一生

辛酸なめ子（しんさん・なめこ）

漫画家・イラストレーター・コラムニスト、エッセイスト、小説家。

1974年東京生まれ、埼玉県育ち。武蔵野美術大学短期大学部デザイン科グラフィックデザイン専攻卒業。人間関係から恋愛、アイドル、皇室まで様々な事象取材し、執筆する。女性の世界を鋭い観察眼で描く画文に定評がある。

著書に『女子校育ち』（ちくまブリマール新書）『女の人生すごろく』（マガジンハウス）『女子校礼賛』（中公新書クラレ）『スピリチュアル系のトリセツ』（平凡社）『煩惱ディスタンス』（小学館文庫）『電車のおじさん』（小学館）など多数。

著者 辛酸なめ子

発行者 小林謙一

発行所 三樹書房

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-30

TEL 03-3295-5398

FAX 03-3291-4418

印刷・製本 モリモト印刷

組版・装丁 言水ヘリオ

©Naneko Shinsan/MIKI PRESS 三樹書房

本書の内容の一部、または全部、あるいは写真、図版などを無断で複写・複製（コピー）することは、法律で認められた場合を除き、著作者及び出版社の権利の侵害となります。個人使用以外の商業印刷、映像などに使用する場合はあらかじめ小社の版權管理部に許諾を求めてください。